



平成 24 年 2 月 6 日

各 位

ガイアホールディングス株式会社

東京都新宿区西早稲田二丁目 18 番 18 号

(コード番号：3727 東証マザーズ)

代 表 者 代表取締役 郡 山 龍

問合せ先 取 締 役 伊 藤 洋

電話番号 03-5286-8436

平成 23 年 12 月期通期業績予想修正及び特別利益・特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成23年8月11日に公表いたしました平成23年12月期（平成23年1月1日～平成23年12月31日）通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。また、特別利益・特別損失を計上いたしますので、その内容について併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 12 月期通期業績予想の修正（平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日）

(1) 連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	連結当期純利益	一株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,885	413	380	59	5.72
今回修正予想 (B)	10,502	416	384	510	49.42
増減額 (B) - (A)	△383	3	4	451	—
増減率 (%)	△3.5	0.7	1.1	764.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 12 月期実績)	9,446	211	163	333	32.95

(2) 個別業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,998	396	355	115	11.14
今回修正予想 (B)	3,987	491	465	54	5.23
増減額 (B) - (A)	△11	95	110	△61	—
増減率 (%)	△0.3	24.0	31.0	△53.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 12 月期実績)	4,080	231	228	158	15.66

当社は平成 23 年 12 月 20 日をもって、普通株式 1 株につき 100 株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、前期実績の 1 株当たり当期純利益を算定しております。

ご注意：本リリースは、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。
本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。
よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

(3) 修正の理由

①連結

連結業績につきましては、売上高、営業利益及び経常利益は、ほぼ予想通りに推移する見込みです。当期純利益は、「3. 特別損失の計上」のとおり特別損失を計上する一方で「2. 特別利益の計上」の特別利益を計上することにより、前回の当社予想を大きく上回る見込みとなったため、業績予想数値を上記のとおり修正いたしました。

②個別

個別業績につきましては、売上高はほぼ予想通り推移しておりますが、営業利益及び経常利益は、利益率の高い製品売上や、販売管理費の圧縮などが寄与したことにより、当社予想を上回る見込みです。当期純利益は、「3. 特別損失の計上」の特別損失を計上する見込みとなったため、業績予想数値を上記のとおり修正しました。

2. 特別利益の計上

(1) 負ののれん発生益

当社は、連結子会社である株式会社ジー・モード（以下「ジー・モード」）と株式交換（以下「本株式交換」）を行い、同社を完全子会社といたしました。これに伴い、当社が保有するジー・モード株式につきまして、本株式交換に伴う少数株主持分の減少額が、本株式交換により子会社とした時点での株式市場の時価による評価額を上回っているため、当該差額を負ののれん発生益として連結で572百万円計上する見込みとなりました。

なお、負ののれん発生益の経理処理にあたっては、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）等を適用しております。

3. 特別損失の計上

(1) 固定資産除却損

当社では、ソフトウェア製品の開発を継続的に行っており、その開発費をソフトウェア資産に計上してまいりましたが、今後使用する見込みのないソフトウェア資産の除却を行い、固定資産除却損として、連結で153百万円、個別では152百万円を計上する見込みとなりました。

(2) 投資有価証券評価損

当社が保有する時価のある有価証券（「その他有価証券」に区分される投資有価証券）のうち、時価が著しく下落しているものについて、減損処理による投資有価証券評価損を、連結・個別とも63百万円計上する見込みとなりました。

(3) 臨時償却費

当社グループ全体の業務効率の向上などの理由により、当社及び国内の主要連結子会社3社（株式会社ジー・モード、株式会社アニメインターナショナルカンパニー、株式会社アプリックス）の各本社を集約する移転を予定しております。この移転に際して除却が見込まれる固定資産の耐用年数を移転予定時までの期間に短縮したことによる臨時償却費として、当連結会計年度において、連結で130百万円、個別では52百万円計上する見込みとなりました。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因によって上記予想数値と異なる場合があります。

以上